

情報倫理デジタルビデオ小品集 7

著作・監修：布施泉，岡部成玄，辰己丈夫，上田浩，中西通雄，多川孝央，和田智仁
企画・制作：大学 ICT 推進協議会

大量の情報がネットワーク上を流れ、個人の生活に深く関わっていく中で、大学生が安全かつ有効にインターネットを利用していくための基礎知識を身に付けることが必須となっている。本小品集は、大学の共通教育に使用でき、かつ視聴する大学生が身近な現実の問題として興味を持って見るができるようなコンテンツとして企画している。小品集7での新規作品の概要を以下にまとめる。

| 情報セキュリティ | | |
|----------------------------|---|---|
| パスワード、なぜ大事？どう守る？ | 大学の Wi-Fi にスマホが繋がらない学生と、いつもの SNS にアクセスできない学生。いったい何が起きたのか…。日々たくさんのアカウントを使う必要がある現在、パスワードの重要性や管理方法について考える。 |  |
| あの手この手で乗っ取りを… 一多要素認証 | SNS アカウントを乗っ取られた学生がサポートセンターの勧めで多要素認証を使うことにした。Web にある説明の通りに設定をしてみてももの仕組みがよくわからない。多要素認証ってどういうもの？ |  |
| その Wi-Fi は大丈夫？ | 大学の ID とパスワードが不正利用されてしまい気落ちする学生。それには Wi-Fi 接続が関係しているようだ。Wi-Fi 接続する時にどんなことに注意が必要か、技術的な内容も含め整理して考えてみよう。 |  |
| 情報社会の権利 | | |
| それはあなたのレポートですか？ 一著作物の利用と引用 | 本から引用したり、ウェブを参考にしたり…。どうにかレポートを書き上げて課題を提出した学生たちだが、後日、先生から呼び出しがかかる。何の問題があったのだろうか。他の人の著作物を引用したり参考にする場合に気をつけることを考えてみる。 |  |
| ダメ、絶対！レポートのズル | このままでは、レポートが期限に間に合わない！その時、学生が考えたことは…？一歩間違えると、留年や退学、さらに社会的にも大きな問題になる不正行為にはどのようなものがあるのか。状況を整理して今一度振り返ろう。レポートのズルは、ダメ、絶対！ |  |
| 勝手にアップ、みんなはプンプン 一共同著作物の権利 | 授業でのプレゼン発表会。実話を脚色してグループみんなで作った物語が高評価を得る。喜ぶグループの学生たち。他の学生からプレゼン発表会での発表内容だけではなく、物語全てを見せてほしいという要望が。対応しようとした学生だが… |  |

| | | |
|---|--|--|
| <p>撮影した映像は誰のもの？</p> | <p>アルバイトをしているコンビニの防犯カメラの映像の提供が求められていることを知った学生。何が起こったのか、自分の映像も映っているし、気になる。その近くを家族の車でドライブしていた学生は、ドライブレコーダの映像があることを思いつき、見てみると…。</p> |  |
| <p>漫画サイトが見られない —フィルタリングとブロッキング—</p> | <p>お気に入りの漫画サイトを、大学で見ようとする学生。ところが何故か見られない。友達には、大学では教育・研究以外のサイトがアクセスできないことを教えてくれた。そういえば、外国のウェブサイトを自由に見られない国があるという話も聞いたこともある。これって何かなされているの…？ 解説編 A：フィルタリングとブロッキングの違いを詳しく解説。 解説編 B：ブロッキングから生ずる問題と著作権侵害について詳しく解説。</p> |  |
| <p>ポイントを貯めると個人情報流出？</p> | <p>いつも使っているポイントカードのポイントが貯まり、ハイテンションな学生たち。別の学生がポイントが付与されたレシートやアプリを見せてもらおうと個別の広告が…。徹夜続きであることや甘いもの好きであることが丸わかり。えっ。これってどういう仕組みなの？</p> |  |
| <p>情報社会の生活</p> | | |
| <p>教えて、スマートな暮らし方</p> | <p>音声を利用した対話で様々な情報を検索することができるスマートスピーカーを購入した学生と、スマートフォンのアプリで自室の新型エアコンを遠隔制御できる部屋に引っ越した学生。 新型エアコンのことをスマートスピーカーに聞いてみたところ、驚きの内容が。そして、スマートスピーカーへの話しかけた内容も、適切な利用がされているか、疑いが…。</p> |  |
| <p>フェイクニュースで大失敗</p> | <p>誰もが、いろいろな情報発信をできるようになったインターネット社会。フェイクニュースもたくさん流れている。そこで、授業でフェイクニュースについて調べて、フェイクニュースのような画面を作る課題が出た。ある学生が、その課題に熱心に取り組んでいたところ、おもわぬトラブルが発生。</p> |  |
| <p>電子メールの作法</p> | <p>メールで提出する課題が出た。3人の学生が提出したところ、それぞれに先生から連絡がある。問題なく課題を受理された学生と、出し直しを指示された学生。再提出の学生たちは何が問題かがわからない…。解説編 Bでは、先生の立場から、提出されたメールを考えてみる。</p> |  |

教材の詳細は <https://axies.jp/ja/video> を参照下さい。